

倫理規程

株式会社新閃力

（組織の使命及び社会的責任）

第1条 株式会社新閃力（以下「当社」という。）定款第2条に規定する設立目的に従い、コミュニティにおける人と人との支え合いを基盤に、まちづくりの発展に寄与すべき責務を負っていることを認識し、社会からの期待に相応しい事業運営に当たらなければならない。

（社会的信用の維持）

第2条 当社は、常に公正かつ誠実に事業運営に当たり、社会的信用の維持・向上に努めなければならない。

（法令等の遵守）

第3条 当社は、関連法令及び当社の定款、倫理規程その他の規程を厳格に遵守し、社会的規範に反することなく、適正に事業を運営しなければならない。

（私的利益の禁止）

第4条 当社の役職員は、公益活動に従事していることを十分に自覚し、その職務や地位を私的な利益の追求に利用することがあってはならない。

（利益相反の防止及び開示）

第5条 当社の役職員は、その職務の執行に際し、当社との利益相反が生じる可能性がある場合は、直ちにその事実の開示その他当社が定める所定の手続に従わなければならない。

（情報開示及び説明責任）

第6条 当社は、その事業活動に関する透明性を図るため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に開示し、社会の理解と信頼の向上に努めなければならない。

（個人情報保護）

第7条 当社は、業務上知り得た個人的な情報の保護に万全を期すとともに、個人の権利の尊重にも十分配慮しなければならない。

（研 鑽）

第8条 当社の役職員は、事業活動の能力向上のため、絶えず自己研鑽に努めなければならない。

（倫理委員会の設置）

第9条 当社は、倫理規定の遵守を確保するため、倫理委員会を設置して、倫理上の問題について、当当社に対して訴え等があった場合又は代表取締役の判断により、倫理委員会を開催し、審議の結果を株主総会へ報告する。

2 倫理委員会の委員の選任及び解任は、株主総会が決定する。

（委員会の権能）

第10条 倫理委員会の権能

- 1 倫理委員会は、倫理上の問題について、その背景、影響、対応策等を審議し、問題の対応方針及び必要に応じて関係者の処分についての意見を付して、株主総会へ報告するものとする。
- 2 倫理委員会は、必要に応じて、関係者の意見聴取を行うことができるものとする。
- 3 倫理委員会が、不利益処分を課すことを株主総会へ報告する場合には、該当者の文書による弁明の機会又は意見陳述の機会を設けるものとする。
- 4 倫理委員会の審議結果は、委員の全会一致で決定するものとする。

(委員会の開催)

第11条 倫理委員会の開催

- 1 倫理委員会は、代表取締役が召集して開催する。
- 2 倫理委員会は、原則として全員の委員が出席して開催するものとする。
- 3 倫理委員会は、委員が出席して開催することが困難な場合には、ZOOM等の電子媒体又は書面による審議により開催することができるものとする。

(改 廃)

第12条 この規程の改廃は、株主総会の決議により行う。

附 則

この規程は、令和3年年4月1日から施行する。